

文教民生分科会 会議記録

- 1 期 日 令和3年12月27日（月）
午前10時42分 開会
午前11時13分 閉会
- 2 場 所 第2委員会室
- 3 出席委員 委員長 田中 藤一郎
副委員長 岡本 昭治
委員 芦田 竹彦、上田 伴子
芹澤 正志、福田 嗣久
前野 文孝、義本 みどり
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 （別紙のとおり）
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 主幹兼調査係長 小崎 新子
- 8 会議に付した事件 （別紙のとおり）

文教民生分科会長 田中 藤一郎

文 教 民 生 分 科 会 次 第

日時：2021年12月27日（月）本会議休憩中

場所：第2委員会室

1 開 会

2 分科会長あいさつ

3 協議事項

(1) 分担案件の審査

ア 分科会審査

第177号議案 令和3年度豊岡市一般会計補正予算（第16号）

(2) 意見・要望のまとめ

ア 分科会意見・要望のまとめ

4 その他

5 閉 会

文教民生委員会名簿

2021. 12. 27

【委 員】

職 名	氏 名
委 員 長	田 中 藤一郎
副 委 員 長	岡 本 昭 治
委 員	芦 田 竹 彦
委 員	上 田 伴 子
委 員	芹 澤 正 志
委 員	福 田 嗣 久
委 員	前 野 文 孝
委 員	義 本 みどり

8 名

【当 局】出席者に着色をしています。

職 名	氏 名	職 名	氏 名
地域コミュニティ振興部長	幸木 孝雄	市民生活部長	谷岡 慎一
地域コミュニティ振興部参事	桑井 弘之	市民課長	惠後原孝一
生涯学習課長	大岸 和義	市民課参事	川崎 智朗
生涯学習課参事	旭 和則	生活環境課長	成田 和博
生涯学習課参事	土生田祐子	城崎振興局 市民福祉課長	土岐 浩司
文化振興課長	米田 紀子	竹野振興局 市民福祉課長	岡田 貢
文化振興課参事	藤原 孝行	日高振興局 市民福祉課長	川端美由紀
文化振興課参事	橋本 明宏	日高振興局 市民福祉課参事	西松 秩里
新文化会館整備推進室長兼都市整備課参事	櫻田 務	出石振興局 市民福祉課長	川口 雅浩
スポーツ振興課長	池内 章彦	出石振興局 市民福祉課参事	午菴 晴喜
		但東振興局 市民福祉課長	柏木 敏高

名

3 名

職 名	氏 名	職 名	氏 名
健康福祉部長	原田 政彦	教育次長	堂垣 真弓
社会福祉課長	宮田 裕史	教育総務課長	永井 義久
社会福祉課参事	大谷 賢司	教育総務課参事	木之瀬晋弥
高年介護課長	定元 秀之	教育総務課参事	宇川 義和
高年介護課参事	和田 征之	教育総務課参事	大谷 康弘
健康増進課長	宮本 和幸	こども教育課長	和田 晃典
健康増進課参事	村尾 恵美	こども教育課参事	坂本英津子
健康増進課参事	三上 尚美	こども教育課参事	内海 忠裕
健康増進課参事	武田 満之	こども教育課参事	惠後原博美
		こども育成課長	木下 直樹
		こども育成課参事	吉本 努
		こども育成課参事	富岡 隆
		こども育成課参事	山本加奈美
		こども育成課参事	吉谷 孝憲

2 名

7 名

【事 務 局】

合計 21 名

職 名	氏 名
議会事務局主幹兼調査係長	小崎 新子

午前10時42分開会

○分科会長（田中藤一郎） おはようございます。

もう本当に朝から大雪で大変でした。雪かきから、皆さんもして来られたかなというふうに思いますけれども、今日もまた降りそうですので、スムーズにやりながら行きたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

それでは、文教民生分科会を行います。

協議事項です。これより3の協議事項、(1)番のア、分担案件の審査に入ります。

審査日程ですけど、まず、予算決算委員会付託議案に係る当分科会に付託された議案の説明、質疑、討論、表決を行い、その後、委員のみで分科会意見・要望等の取りまとめを行い、委員の皆さん、当局の皆さん、説明、質疑、答弁に当たりまして、くれぐれも要点を押さえて簡潔明瞭に行うなど、スムーズな議事進行に格別のご協力をお願いいたします。

また、発言の最初には必ず課名と名字とお願いいたします。

それでは、第177号議案、令和3年度豊岡市一般会計補正予算（第16号）を議題といたします。

当局の説明は、組織順の課単位で、歳出、歳入等の順に一気に説明をお願いします。

説明に当たっては、資料のページ番号をお知らせください。

なお、質疑は、説明が終わった後、一括して行います。

それでは、市民生活部市民課から順次説明をお願いします。

恵後原課長。

○市民課長（恵後原孝一） 追加提案の一般会計補正予算（第16号）の市民課分についてご説明いたします。

当課からは、子育て世帯への臨時特別給付についての補正予算を計上しております。

本件につきましては、この臨時特別給付に係る所要額のうち、中学生以下の先行給付金を除いた給付金部分の財源を国が補正予算により措置したことから、本市においてもこの財政支援を活用しまして、

今議会の議会日当日に決定いただきました中学生以下の児童への先行給付金以外の部分、残りの子育て世帯への臨時特別給付金を速やかに支給しようとするものです。

主な内容につきましては、事項別明細書でご説明いたします。

42ページをご覧ください。まず、歳出ですが、ページの一番下の枠、子育て世帯臨時特別給付金支給費で、隣、43ページの説明欄の上から、人件費は、会計年度任用職員1人分の1か月分の等でございます。

その下の支給事業費の消耗品費から通信運搬費までは、支給対象者への案内文書等の作成や送付に係る経費でございます。

次の手数料につきましては、支給に係る振込手数料でございます。

その下の交付金は、中学生以下の児童1人当たり5万円の追加給付金並びに高校生の世代の児童への先行給付金及び追加給付金を合算しました10万円について、支給対象児童数を見込んで積算、計上しております。

当該支給に係る財源については、戻っていただきまして41ページ、ご覧ください。歳入の民生費国庫補助金で、説明欄の上から4行目、子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金によりまして、全額補助されるものでございます。

説明は以上です。

○分科会長（田中藤一郎） 宮田課長。

○社会福祉課長（宮田 裕史） 引き続きまして、追加議案書の43ページをお開きいただきたいと思います。

こちら、一番上の枠になりますけれども、説明欄中ほどにございます住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業費でございます。こちらは、住民税非課税世帯等に対しまして、1世帯10万円を支給させていただくものです。

対象世帯といたしまして、住民税非課税世帯を8,800世帯、家計急変世帯を2,200世帯、合わせて1万1,000世帯を見込んでおり、交付金、

一番下になりますが、11億円計上させていただいております。

また、支給対象となる住民税非課税世帯につきましては、該当世帯を抽出し、積極支給することとしたしておりまして、システム改修業務や封入・封緘業務につきまして、委託して実施したいと考えております。先ほどの交付金の上のところに業務委託料として1,430万円計上させていただいております。

そのほか、業務に従事いたします会計年度任用職員に係る人件費640万9,000円、そのほか、事業実施に必要な消耗品や通信運搬費等を合わせて11億2,590万円計上させていただいております。

続きまして、歳入でございます。

41ページをご覧いただきたいと思っております。一番上の枠になりますが、民生費国庫補助金の社会福祉費補助金となっております、先ほどご説明いたしました事業費と同額、10分の10で、11億2,590万円計上させていただいております。

続きまして、34ページをご覧いただきたいと思っております。第2表、繰越明許費補正ということで上げさせていただいております。

給付金支給に当たりましては、現在、3月上旬に対象世帯へ通知文書をお送りしまして、確認書の返送をいただいた方から順に支給するという予定にいたしております。委託業務の進捗状況にもよりますが、現在、約半数の支給が次年度以降になってしまう場合に備えまして、6億7,092万1,000円を繰り越すことといたしまして、今回は計上させていただいております。

今後、補正予算についてご承認いただけましたら、業者選定等、速やかに進めまして、一日も早く対象世帯に届けられるように努めてまいりたいというふうに考えております。

社会福祉課からの説明は以上でございます。

○分科会長（田中藤一郎） 木之瀬参事。

○教育総務課参事（木之瀬晋弥） 教育総務課につきましては、GIGAスクール構想の推進と学校施設

整備事業ということで、2つの事業につきまして予算を計上させていただいております。

そうしましたら、45ページをお開きください。一番下の表の上の枠でございます。小学校の学校施設管理費でございます。

まず、手数料としまして220万3,000円を計上いたしております。こちらにつきましては、GIGAスクール構想の関係で、1人1台端末を整備いたしました。一度にたくさんの端末を整備いたしましたので、校内のネットワークにつきまして、つながりにくいであるとか、遅いというような報告も上がっておりますので、ネットワークを一度点検をいたしまして、また、その結果に基づきまして、応急的な対応をする費用でございます。

続きまして、事業用備品ということで、427万5,000円を計上いたしております。こちらにつきましては、ICT関係の備品ということで、オンライン教育であったり、遠隔教育に資する備品ということで、大型テレビであったり、カメラ、マイク等を整備するものでございます。

続きまして、下の枠でございます。小学校の学校施設整備事業費でございます。

こちらにつきましては、2つの工事を上げております。まず、一つが、八条小学校の空調設備の更新の工事、また、非構造部材の耐震化工事といたしまして、港小学校、弘道小学校、小坂小学校の3校の工事費ということで上げております。

こちらの分の投資委託料、設計監理の委託料といたしまして814万4,000円、内訳としましては、八条小学校の空調設備の更新工事につきましては135万円、また、非構造部材落下対策工事につきましては679万4,000円を計上いたしております。

続きまして、整備工事費でございます。こちら、トータルで1億4,157万9,000円を計上いたしております。こちら、内訳につきましては、八条小学校の空調設備の更新工事といたしまして1,350万円、非構造部材の耐震化工事といたしまして1億2,807万9,000円を計上いたしてお

ります。

続きまして、47ページをお開きください。中学校費の学校施設管理費で、ございます。

こちらは、小学校と同様にGIGAスクール構想の推進ということで、ネットワークの点検、また応急対応の費用といたしまして、手数料として79万7,000円、また、ICT関係の備品といたしまして364万5,000円を計上いたしております。続きまして、歳入でございます。

41ページをお開きください。一番上の表の4枠目でございます。学校施設環境改善交付金といたしまして、八条小学校の空調設備更新、また、非構造部材の落下対策工事に充てる費用といたしまして、国の交付金といたしまして4,719万3,000円を計上いたしております。なお、補助率は3分の1となっております。

続きまして、公立学校情報機器整備費補助金でございます。こちらは、ICT関係の費用に対する国の補助金でございます。ネットワーク点検につきましては補助率が3分の1、また、ICTの備品整備につきましては補助率が2分の1となっております。合計で287万1,000円を計上いたしております。

続きまして、1つ下の枠でございます。中学校の公立学校情報機器整備費補助金でございます。中学校につきましては、小学校と同様に、ICTが補助率が2分の1、ネットワーク点検が補助率が3分の1ということで、合計208万8,000円を計上いたしております。

続きまして、同じページの一番下の表をご覧ください。公立小学校整備事業債でございます。こちら、八条小学校の空調設備の更新、また、非構造部材の耐震化工事に充てる市債でございます。八条小学校の空調設備につきましては1,030万円、また、非構造部材につきましては9,210万円を計上いたしております。

最後に、繰越明許でございます。

34ページをご覧ください。学校施設整備事業費といたしまして1億4,972万3,000円を計

上いたしております。こちらの工事につきましては、3月下旬に発注予定、そして、完成につきましては、来年度、5月、6月あたりを想定しておりますので、全額を繰り越すものでございます。以上でございます。

○分科会長（田中藤一郎） 坂本参事。

○こども教育課参事（坂本英津子） こども教育課分について説明させていただきます。

まず、歳出について説明します。

45ページをお願いいたします。下から2枠目になります。感染症対策事業費として200万円を計上させていただいております。小・中学校における新型コロナウイルス感染症対策として、消毒液など、保健衛生用品を購入するものです。

次に、歳入について説明いたします。

41ページをお願いいたします。一番上の枠の真ん中辺りになります。教育費国庫補助金、学校保健特別対策事業費補助金です。先ほど歳出で説明いたしました感染症対策事業費に対する補助金です。補助率は2分の1です。以上です。

○分科会長（田中藤一郎） 吉本参事。

○こども育成課参事（吉本 努） こども教育課分についてご説明をさせていただきます。

43ページをご覧ください。43ページの下の方の一番上、子育てセンター運営事業費の60万円及びその下、放課後児童健全育成事業費の209万2,000円です。こちら、いずれも新型コロナの感染症対策として、消毒薬、こういったものを購入するという形の費用でございます。

戻っていただきまして、41ページです。歳入についてご説明いたします。一番上の表の2段目、地域子育て支援拠点事業費補助金、放課後児童健全育成事業費補助金、2枠目にあります同様の部分ですが、それぞれ国が3分の1、県が3分の1という形になりますので、子育てセンター分がそれぞれ20万円、いわゆる放課後児童クラブ分がそれぞれ69万7,000円という形で補助金を頂くというふうな形で予算を計上いたしております。

全体の説明は以上です。

○分科会長（田中藤一郎） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

前野委員。

○委員（前野 文孝） 今回の学校の様々なコロナ対策をやっているということなんですけれども、国の補正予算が通って、地方創生臨時交付金で措置できるので、今期中にできるだけ前倒しておいて、来年度分もという、そういうことだと思んですけども、これ、全体で、今年度中に使えるこの臨時交付金って、どれぐらいの枠があって、今回、全体で1億8,000万円ぐらいなんだけど、全体の枠がどれぐらいの形になってるんですか。（「財政課じゃないと分からないかな」と呼ぶ者あり）

分かんないか。（発言する者あり）じゃあ、答えられる範囲でいいわ。

○分科会長（田中藤一郎） 木之瀬参事。

○教育総務課参事（木之瀬晋弥） 地方創生臨時交付金の交付枠につきましては、まだ国のほうから明確なものが示されていないということで、財政課からは聞いております。

教育委員会分につきましては、今回予算のほう計上させていただくにつきましては、文部科学省のほうからは、一応交付金の対象となるよう調整中ということで回答が来ておるところでございます。以上でございます。

○分科会長（田中藤一郎） 前野委員。

○委員（前野 文孝） ということは、枠がまだ分からなくて、この間に文部科学省が出してくれたら調整しますよっていう、そういう中で、こういうことをやっている。

○分科会長（田中藤一郎） 木之瀬参事。

○教育総務課参事（木之瀬晋弥） はい、そのとおりでございます。

○委員（前野 文孝） 分かりました。結構です。

○分科会長（田中藤一郎） よろしいですか。

○委員（前野 文孝） はい。

○分科会長（田中藤一郎） そのほか、何かございますでしょうか。

上田委員。

○委員（上田 伴子） 臨時給付金、子育ての給付金ですけれども、10万円のうちの5万円ですけれども、年内支給がほぼ全ての人にはまだできない状況で、それを、後については、年明けになるということなんでしょうか、1点目、33ページのとこだったかな。

それと、それから八条小学校の空調整備について上がってるんですけども、これは一連全部空調整備はしたけれども、まだしてない部屋があって、それをされるんかとか、傷んで、何かそれをされるのかどうか、そこら辺お願いします。

○分科会長（田中藤一郎） 宮田課長。

○社会福祉課長（宮田 裕史） 上田委員ご質問いただきましたのは、社会福祉課で所管いたします住民税非課税世帯の給付金ですね。こちらにつきましては、先ほど少し触れましたけれども、積極支給ということで、業者に委託しまして、税情報等活用しまして、対象世帯を抽出させていただきます。

この関係で、まだ具体的なスケジュール的には分かってないんですけども、2月末から3月上旬に対象世帯に発送させていただくというふうな、今予定いたしておりまして、返事があった方から順次お支払いさせていただくということで考えております。

その中で、まだ委託契約を結んでおりませんので、工期というか、分からない部分もございますので、取りあえず、現在半分ぐらいの方に今年度中にお支払いして、残りの方は翌年度になってもいいように、ちょっと繰越明許費、少し大きいんですけども、今回計上させていただいたということで、極力、年度内には払っていききたいなというふうには思っておりますけれども、業者の関係等踏まえまして、少し余裕を持たせていただいているということでご理解いただけたらなというふうに思います。よろしくをお願いします。

○分科会長（田中藤一郎） もう1点のほう。

永井課長。

○教育総務課長（永井 義久） 八条の空調の関係なんですけれども、冷房専用の部屋がありまして、そ

れを高効率の冷暖房に替えるという、そういう工事になります。

○分科会長（田中藤一郎） 上田委員。

○委員（上田 伴子） 八条のほうのことは分かりましたけども、その臨時特別、子供への交付金ですけども、よく防災無線なんかで、始めの5万円については年内支給というふうなことを何か放送してたような気がするんですが……（発言する者あり）それとはまた違うんですね。ごめんなさい、はい、すみません。そういうのは別なんですね。はい、分かりました。

○分科会長（田中藤一郎） 大丈夫ですか。

○委員（上田 伴子） はい。それは年内に入ることですね。（「5万円は年内」と呼ぶ者あり）年内、はい、分かりました。

○分科会長（田中藤一郎） そのほかございますでしょうか。 福田委員。

○委員（福田 嗣久） 住民税非課税世帯の臨時特別給付金ですけども、豊岡市の3万3,000世帯で1万1,000世帯。非常に多い気がしまして、ちょっと聞いてみたいんですけども、これも税務課があれでしょうが、コロナの以前、19年がどれくらいあって、その非課税世帯、20年去年がどれくらいあって、今年度、この推移は大体分かりますか。

○分科会長（田中藤一郎） 宮田課長。

○社会福祉課長（宮田 裕史） 今、ご質問いただきました推移というのを、今手元になくて、今回、1万1,000世帯出させていただきましたのは、全世帯数3万3,000で、おっしゃったとおりで、税務課の非課税世帯というふうな統計は取っておられないということで、逆に、課税世帯を何世帯あるかということで、その課税世帯を除いたのが1万1,000世帯ということで、今回、対象世帯かなということで予算計上させていただいております。必要に応じまして、確認して、推移が分かれば、また提出させていただけたらと思います。

○分科会長（田中藤一郎） こっちもでしたよね。

○社会福祉課長（宮田 裕史） ああ、課税世帯除いて8,800世帯、失礼いたしました。

○分科会長（田中藤一郎） 福田委員。

○委員（福田 嗣久） 課税世帯除いたら非課税世帯になるんだけど、私が知りたいのは、このコロナの禍が去年から入ってますけれども、その以前からの推移がどんなふうなのかなっていうのも、ちょっと豊岡の経済全般が見たいもんですから、それは後で、また資料で教えてください。分かりますか。

○社会福祉課長（宮田 裕史） 分かりません。

○委員（福田 嗣久） 分からなかったら、市民生活部長です。

○分科会長（田中藤一郎） 谷岡部長。

○市民生活部長（谷岡 慎一） 今、ご指摘いただいた点につきましては、課税世帯は分かるんです。課税をして、それが世帯数出てくるんですけども、非課税を、別にその判断をしているわけではないんです。ですから、例えば申告しなかったら、それは分かりませんから、課税していなかったということになってるだけでして、ですから非課税を改めて全世帯数から抽出して、そういう統計を取ってる、先ほど課長からもございましたが、そういう統計を取ってるわけではないんです。ですので、同じような計算の仕方ですというのであれば、ちょっと検討してみたいというふうに思います。今回、社会福祉課で出されたようなことを、同じやり方で出すということであれば、そこはちょっと税務課に持ち帰って検討させていただきたいと思います。

○分科会長（田中藤一郎） 福田委員。

○委員（福田 嗣久） 説明は分かりましたんで、私が知りたいと思っとったのは、その状況が知りたいもんですから、課税世帯の出し方でもよろしいんで、時系列に出していただいたら、このコロナの影響というのは非常に分かりやすいなと思っております。ですから、課税世帯で結構ですけども、ちょっとこの、コロナ前と比較できるような数字を教えてくださいませんか。皆さんに教えてもらっても結構です、資料としてね、それは委員長が。

○分科会長（田中藤一郎） 谷岡部長。

○市民生活部長（谷岡 慎一） 趣旨は分かりました。どういうふうな統計を取っているのか、公式な統計

もありますので、ちょっと税務課に持ち帰って、皆さんにどういうふうな形で理解いただくのが一番、何ていいですかね、いい形なのかを検討しまして、ちょっとすぐ出せないかもしれませんが、速やかに出すように検討いたしたいと存じます。以上です。

○分科会長（田中藤一郎） 委員の皆さんにもお配りのほうをよろしく願います。

○市民生活部長（谷岡 慎一） はい。

○分科会長（田中藤一郎） 福田委員。

○委員（福田 嗣久） パーセンテージが非常に多いような気がするのの一つと、コロナの影響がどういふふうに移してあるかなということ非常に強く、この数字を見させていただいて思うもんですから、よう精査されて、教えていただいたら、議員それぞれがよく分かってくると思うんでね、お願い申し上げたいと思います。以上です。

○分科会長（田中藤一郎） はい、ありがとうございます。

そのほか、ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（田中藤一郎） ないようですので、質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（田中藤一郎） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本件は、原案どおり可決すべきものと決定して異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（田中藤一郎） ご異議なしと認めます。

よって、第177号議案は、原案どおり可決すべきものと決定しました。

以上で分科会に分担された議案に対する審査は終了しました。

ここで委員の皆さん、当局職員の皆さんから何かありましたらご発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（田中藤一郎） それでは、当局職員の皆さんは退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

分科会を暫時休憩をします。

午前11時08分休憩

午前11時09分再開

○分科会長（田中藤一郎） 分科会を再開します。

次に、協議事項3、（2）のア、分科会意見・要望のまとめに入ります。

当分科会の意見・要望として、予算決算委員会に報告すべき内容について協議いたしたいと思えます。

本日、分科会で審査しました第177号議案について、分科会意見・要望についてのご発言があれば願います。

暫時休憩をします。

午前11時09分休憩

午前11時11分再開

○分科会長（田中藤一郎） それでは、分科会を再開します。

福田委員、願います。

○委員（福田 嗣久） 子育て世帯への臨時特別給付金、それから住民税非課税世帯等への臨時特別給付金の支給については、できるだけ速やかに支給できるように努力願いたい、そういう文言を入れていただきたいですね。

○分科会長（田中藤一郎） そうしましたら、今のご意見につきまして……。〔発言する者あり〕よろしいですか。

それでは、皆様、そちらのほうでよろしいでしょうか。

それでは、ただいま協議いたしました分科会意見・要望を含む分科会長報告の案文については、正副分科会長に一任願いたいと思えますけれども、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（田中藤一郎） ご異議なしと認め、そのように決定しました。

最後に、協議事項4、その他についてを議題いたします。

委員の皆さんから何か協議、意見交換等すべき事項があればご発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（田中藤一郎） 特にないようですので、
以上をもちまして文教民生分科会を閉会いたします。
お疲れさまでした。ありがとうございました。

午前11時13分閉会
